



# 経済産業省 関東経済産業局 関東東北産業保安監督部

## どんな組織なの？

関東経済産業局・関東東北産業保安監督部は、経済産業省の地方ブロック機関（いわゆる出先機関）です。**広域関東圏**（茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県、静岡県※）を行政の区域とし、経済産業政策の実施に取り組んでいます。

※電力・ガス事業等の一部業務に例外あり

## 何をやってるの？

関東経済産業局は、関東地域で活躍している民間企業、自治体、支援機関等の皆さまに対して、成長産業の創出・育成や起業・創業の促進、中小企業の経営力強化、エネルギーの安定供給等を通して、**地域経済の活性化や健全な発展に貢献**することを目指しています。また、政策を実施するだけでなく、現場の声を大切に、経済産業省本省と連携し、使い勝手の良い政策への改善や新たな政策提案も行います。

### 当局の業務イメージ



関東東北産業保安監督部は、**電力、ガス、火薬類や鉱山等に関する安全の確保、鉱山における鉱害等の防止**を目的に、各種法令に基づく安全規制や指導、円滑な自主保安の推進に有益な情報提供や功労者の表彰等を行っています。関東局・監督部ともに、国家公務員という立場でありながら、出張に行く機会も多く、地域の「現場」に根ざして仕事をすることができます。

（写真）

発電所に立入検査をする様子（保安監督部）



## どんな職場なの？

良い仕事をするためには、働く環境がとても大切です。関東局・監督部では、「**風通しのよさ**」を大事にし、若い世代でも自由に意見が出せる環境を作っています。また、「働き方改革」にも力を入れており、**テレワーク・フレックス制度**を活用し、育児や介護をはじめとした様々なライフステージの職員が活躍できる職場を目指しています。

勤務地はさいたま市の本局のほか、横浜市にも事務所を構えていますが、大半の職員がさいたま市で勤務しています（写真左から2つめの庁舎）。転居を伴う異動はほとんどありませんが、人事異動の過程で管内の自治体等に出向することがあります。



（写真）  
さいたま新都心合同庁舎

	合計	男性	女性	事務官	技官
経産局	365人	241人	124人	308人	57人
監督部	54人	48人	6人	5人	49人

（参考）職員の数（令和7年11月時点）

### 職員の声

「私は技術系の採用ですが、自分の専門分野のみならず、幅広い分野で仕事ができる点を魅力に感じ、志望しました。補助金の執行を通じて、地域活性化に携わっており、とてもやりがいを感じています！」  
（令和3年度採用・技官）

「地域の最前線で地域振興や企業支援をしたいと思い志望しました。日々新しい発見の連続で、好奇心旺盛な方にはぴったりの職場だと思います！」  
（令和4年度採用・事務官）

